

策定の趣旨

大分市教育委員会は、「Society5.0時代においても、夢や希望をもち『生きる力』を育むたくましい子どもの育成」を目的として、2021年（令和3年）3月に「大分市立学校教育情報化推進計画」を策定し、本市の教育情報化を推進してきました。計画の期間は、2025年度（令和7年度）までの5年間としていますが、情報化や技術革新が急速に進行しているため、2022年度（令和4年度）までを第1期として、今回、これまでの取組の成果と課題を分析し、国及び県の動向等を踏まえ、改訂します。

基本方針1 子どもたちの情報活用能力の育成**〔具体的な取組〕****(1) ICTを活用した多様な方法による学習の促進**

- ・一人1台端末の持ち帰りにより様々な場面でICTを活用した学習ができるよう、学校や家庭以外の様々な場所や場面での活用も踏まえて学習支援を検討します。
- ・小学校は中学年以上（3～6年生）児童を対象に、中学校は全校生徒を対象に、専門的な知識をもった講師等による、「スマートフォン・パソコン等の安全教室」を年1回以上行います。

(2)障がいのある児童生徒のICT活用の推進

- ・特別支援教育コーディネーターや特別支援学級担任を対象とした研修及び情報提供を行い、授業におけるICT活用を促進します。

(3)相当の期間学校を欠席する児童生徒に対する教育の機会の確保

- ・不登校児童生徒や不登校傾向のある児童生徒の学ぶ機会の確保に向け、遠隔会議システム等による双方向支援や、学習教材の配信等、タブレット端末を活用した支援を行います。

(4)先端技術を活用した新たな学習の推進

- ・AIドリル等の学習支援アプリやEdTech教材の導入、活用を推進することにより、児童生徒一人一人の学習状況に合わせた個別最適な学びの実現を進めます。

(5)調査研究等の推進

- ・AIドリル等の学習支援アプリの導入など、子どもの学びや教員の支援のための先端技術及び教育ビッグデータの利活用について効果を探ります。
- ・子どもたちの学習履歴（スタディ・ログ）等の教育データの蓄積・分析・利活用するための環境整備やCBTの活用について調査研究を推進します。

基本方針2 ICTを活用した「分かりやすく深まる授業」の実現**〔具体的な取組〕****(1)学校の教職員のICT活用指導力の向上**

- ・大分市教職員研修等において、積極的にタブレット端末を使用することで、教員のICT活用に関する知識・技能の向上を図ります。

基本方針3 校務の情報化の推進**〔具体的な取組〕****(1)学校における校務の負担軽減**

- ・統合型校務支援システムを安定的に運用し、校務の情報化及び教職員の働き方改革を推進します。

基本方針4 教育の情報化に向けた環境整備**〔具体的な取組〕****(1)学校におけるICT活用のための環境整備**

- ・学習者用デジタル教科書等の活用を推進します。
- ・一人1台端末を活用し、全ての児童生徒の学びの保障及び学習の幅を広げることを目的に、整備したモバイルルーターの有効活用を推進します。
- ・国の動向を注視しながら、学校におけるICT環境の計画的な更新を進めます。

(2)学習の継続的な支援等のための体制整備

- ・ICT支援員を派遣するとともに、サポートセンター等において、ICT機器等に関する相談対応等の支援をします。

(3)個人情報の保護等

- ・国の教育情報セキュリティポリシーに関するガイドラインや県のセキュリティポリシーの改訂を踏まえ、「大分市立学校における情報セキュリティの基本方針」及び「大分市立学校における情報セキュリティ対策基準」を改訂し、周知徹底を図ります。

(4)ICTの活用を支援する人材の活用

- ・ICT支援員に対して定期的に研修を行うなど、資質の向上に努めるとともに、各学校での活用を推進します。

(5)市民の理解と関心の増進

- ・学校ホームページの作成等に係る研修を実施し、一層の充実を図ります。また、SNS、VRやAR等を利用した手法についての研究を進めます。